

産業廃棄物処理計画書

2025 年 5 月 10 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県新発田市島潟字赤沼265-1

氏名 東亜道路工業株式会社 下越営業所
所長 紙谷 等史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0254-24-1608

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜道路工業株式会社 下越営業所
事業場の所在地	新潟県新発田市島潟字赤沼265-1
計画期間	2025 年 4 月 1 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	2024 年度 完成工事高 1.341百万円
③従業員数	28名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (2024 年度) 実績】																	
① 現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片・陶磁器破片	建設混合廃棄物	がれき類								
	排出量	89.53	t	0.40	t	40.44	t	174.22	t	1,566.40	t	5.15	t	24.37	t	0.00	t
	産業廃棄物の種類															a	
	排出量																t
(これまでに実施した取組)																	
<ul style="list-style-type: none">・アスファルト塊等を破砕し、路盤材、再生合材として再生できるような工夫の選定・コンクリート塊等を破砕し、敷地造成材、路盤材等として利用・余剰材の発生しない資材搬入管理																	
【目標】																	
② 計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片・陶磁器破片	建設混合廃棄物	がれき類								
	排出量	80.00	t	0.00	t	50.00	t	150.00	t	1,400.00	t	2.00	t	25.00	t	0.00	t
	産業廃棄物の種類															a	
	排出量																t
(今後実施する予定の計画)																	
<ul style="list-style-type: none">・上記と同様																	

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
	<ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物の再資源化を前提にした現場内分別収集（建設混合廃棄物にしないように心掛ける）									
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)									
	<ul style="list-style-type: none">・上記と同様									

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（2024年度）実績】									
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片	建設混合廃棄物	がれき類	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片	建設混合廃棄物	がれき類	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（2024年度）実績】									
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片	建設混合廃棄物	がれき類	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片	建設混合廃棄物	がれき類	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状		【前年度（2024年度）実績】							
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず	建設混合廃棄物	がれき類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず	建設混合廃棄物	がれき類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状		【前年度（2020年度）実績】							
産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラスくず・コンクリートくず	建設混合廃棄物	がれき類	
全処理委託量	t	0.40 t	t	174.22 t	t	t	24.37 t	0.00 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	0.40 t	t	174.22 t	t	t	24.37 t	0.00 t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類								a	
全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施する。 									

① 計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃油	廃プラスチック	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	ガラス・コンクリート破片	建設混合廃棄物	がれき類								
	全処理委託量	80.00	t	0.00	t	50.00	t	150.00	t	1,400.00	t	2.00	t	25.00	t	0.00	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量	80.00	t	0.00	t	50.00	t	150.00	t	1,400.00	t	2.00	t	25.00	t	0.00	t
	認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	産業廃棄物の種類																a
	全処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託料		t		t		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t		t		t
	(今後実施する予定の取組)																
	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 また、再生利用、熱回収が可能な廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理を委託する。 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 																
※事務処理欄																	

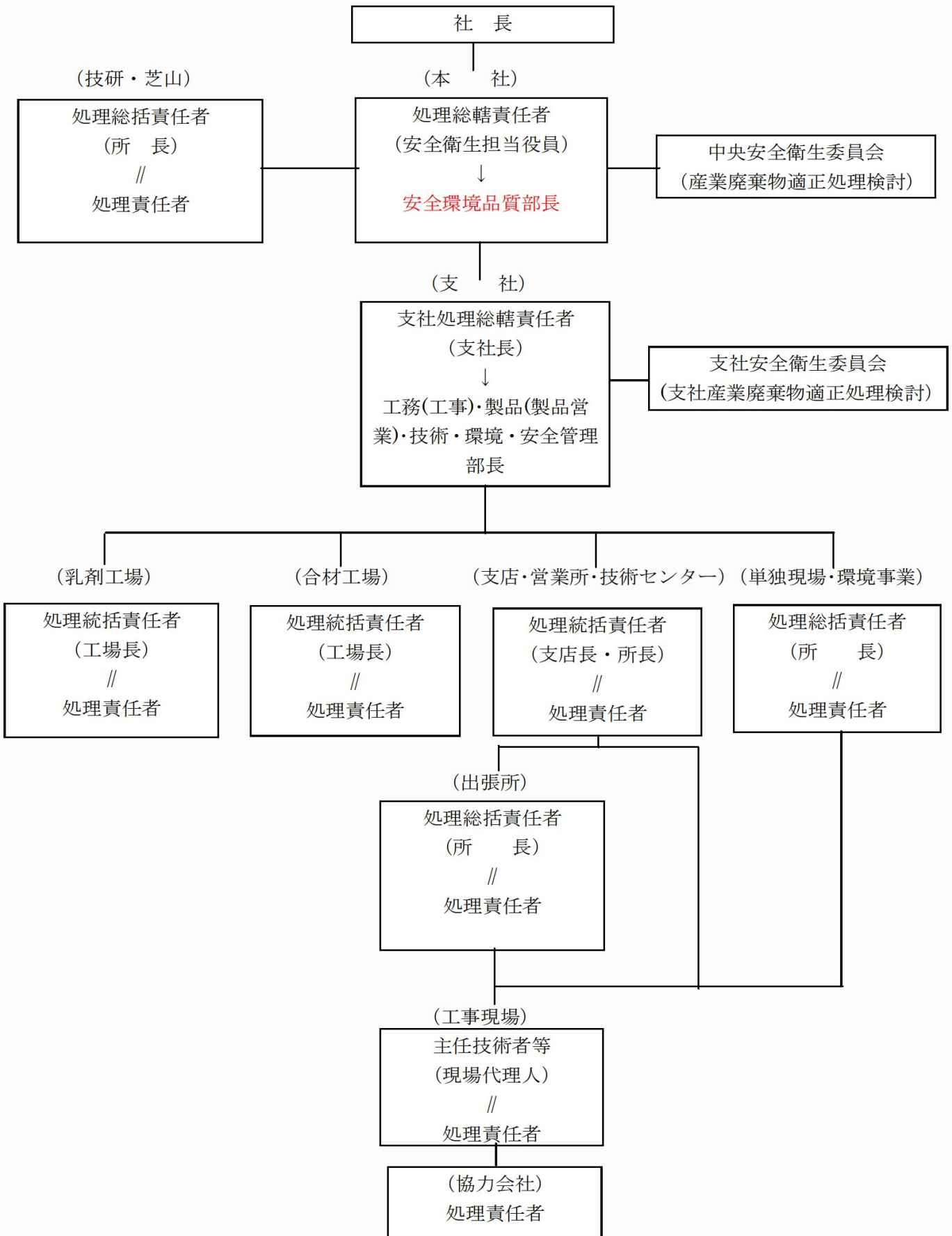
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図1 建設廃棄物の処理フロー

一般廃棄物	事業所から排出される一般廃棄物	営業所における生ゴミ、不燃ゴミ、新聞、雑等	(紙ゴミ) 再生紙原料	
			(可燃ゴミ) 地域広域事務組合 焼却場	
建設廃棄物	産業廃棄物	【分類】	【工事から排出される産業廃棄物】	【処理方法】
		ゴムくず	ゴム製品の劣化物	(最終処分) 安定型埋立
		金属くず	工事看板	(最終処分) 安定型埋立
		アスファルトガラ	道路新設、改修・修繕時に生ずるアスファルト破片	(中間処理) 再利用
		コンクリートガラ	コンクリート舗装新設、改修・修繕時に生ずるコンクリート破片。 道路に布設する二次製品の取付時の破片、撤去時に発生するコンクリート破片	(中間処理) 再利用
		木くず	道路新設、改修・修繕に生じる木くず ・舗装型枠材、舗装時に使用する木材、伐採した木材	破碎 → 焼却
		紙くず	道路新設、改修・修繕に生じる紙くず ・材料の梱包材	破碎 → 焼却
		繊維くず	道路新設、改修・修繕に生じる繊維くず ・土のう袋、軍手	焼却
		廃油	防水アスファルト、アスファルト乳剤等の使用残滓(タールピッチ)、混合油	(中間処理) 油水分離

産業廃棄物適正管理組織図



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	東亜道路工業株式会社 下越営業所 所長 紙谷 等史	提出者の住所	新潟県新発田市島潟字赤沼265-1
事業場の名称	東亜道路工業株式会社 下越営業所	事業場の所在地	新潟県新発田市島潟字赤沼265-1
内容年度	平成 2025 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
建設汚泥	現状	89.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	80.00	0.00	0.00	0.00	80.00	0.00	80.00	0.00	0.00	
廃油	現状	0.40	0.00	0.00	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
廃プラスチック	現状	40.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	50.00	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	50.00	0.00	0.00	
コンクリート破片	現状	174.22	0.00	0.00	0.00	0.00	174.22	0.00	174.22	0.00	
	計画	150.00	0.00	0.00	0.00	0.00	150.00	0.00	150.00	0.00	
アスファルト・コンクリート破片	現状	1,566.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	1,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,400.00	0.00	1,400.00	0.00	
ガラスクズ・コンクリートクズ・陶磁器クズ	現状	5.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	
建設混合廃棄物	現状	24.37	0.00	0.00	0.00	0.00	24.37	0.00	24.37	0.00	
	計画	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.00	0.00	25.00	0.00	
がれき類	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
a	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	1,900.51	0.00	0.00	0.00	0.00	198.99	0.00	198.99	0.00	
	計画	1,707.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,707.00	0.00	1,707.00	0.00	